

「志高く 未来を切り拓く」立川中学校だより NO23 R8.2.10 (火)



風立ちぬ



文責：田澤 明広

★たちかわ夢サポート塾 閉塾★

9月6日(土)に始まった「たちかわ夢サポート塾」ですが、2月7日(土)をもって全講座が終了しました。12年目を迎えるたちかわ夢サポート塾は庄内町の「地域学校協働活動推進事業」として行われています。塾長の太田英一先生、コーディネーターの太田ひろみ先生をはじめ菅原弘昭先生(社会)・保科元先生(数学)堀江信先生(数学)・渡部登美雄先生(理科)・佐々木卓先生(英語)のお力をお借りして講座を開くことができました。今年の3年生は

欠席が少なく、準備や片付けも進

んで行き、学ぼうとする気持ちがとても見えた学年だと太田ひろみ先生がおっしゃっていました。

閉塾式では教育委員会から合格鉛筆、太田塾長から群馬県の「高崎だるま」をいただきました。また、太田塾長の心あたたまるエールで、たくさんの勇気と元気をいただきました。

すでに進学先が決まった人も塾での勉強を最後までがんばり、とてもいい雰囲気での勉強することができました。そのような仲間の姿を見て自分の気持ちを奮い立たせた人もいます。「受験は団体戦」と言われる由縁です。公立高校入試まであと4週間です。最後まで3年生全員で挑戦する気持ちでがんばって欲しいと思います。



きれいな花をいただきました

庄内町花き振興会様からきれいな花をいただきました。同会は、「世界一品質の高い花作り」を掲げ、ストック、トルコキキョウ、スプレー菊など多くの花の生産に取り組んでいます。約90名のメンバーがおられるそうですが、目標を達成するためにそれぞれ研鑽し、競い合いながら世界一を目指しているそうです。今回はストックをメインにアレンジメントを作製してくださいました。ストックの花言葉は、「永遠の美」「豊かな愛」だそうです。宇宙の窓に飾っており、登下校時に生徒たちの心を豊かにしてくれています。



大会結果

◆きらめき卓球大会(小中学生の部)

- ・女子シングルス 第3位 齋藤 楓花
- 第5位 宇田 優和
- 第5位 石崎 朝光



★園小中の連携強化に向けて★

先日、こども園・小学校・中学校の連携に向けた会議が行われました。来年度も園小中が連携しながら最長15年間の一貫性をもった支援を行い、学校目標にある「未来を切り拓く力」を育成していきます。

右記の3つの柱に取り組みますので、生徒のみならず、保護者や地域の皆さまにもお知らせします。

学習面：聞く力、話す力をつける

生活面：他者を認める言葉遣い

健康面：メディアコントロール

立川小 「シン」立川しぐさ

- ・**スマイルあいさつ**：挨拶はコミュニケーションの第一歩。そこに“スマイル”を加え、和やかに。
- ・**思いやロード**：狭い廊下ですれ違う時、相手を気遣い右側を通ったり肩を傾ける。ぶつからないように廊下を走らない。
- ・**やわらか態度**：厳しい態度で相手を攻撃するよりも、相手の良さに目を向け生活を豊かに。

リニューアルしましたが小学校では以前から実践していましたので、立川中生の皆さんにとっては身近なものだったと思います。立川中でも生徒総会において全校で行ったディスカッションをもとに、新執行部が立川中バージョンを考えていきます。

立川しぐさは「江戸しぐさ」からヒントを得て、立川に生きる私たちも、公の場での言動を見直し意識しようというものです。「江戸しぐさ」は、人口100万人の大都市であった江戸の町方のリーダーたちが互いに気持ちよく生活するために築き上げた、人づき合いの心構えを形にしたものです。他の人と共存する上で素敵な生き方です。

【江戸しぐさの例】(フリー百科事典 ウィキペディアより)

傘かしげ：雨の日に、互いの傘を外側に向け、ぬれないようにすれ違うこと。

肩引き：道を歩いて、人とすれ違うとき、左肩を路肩に寄せて歩くこと。

うかつあやまり：例えば、相手に自分の足が踏まれたとき「すみません、こちらがうかつでした」と自分が謝ることで、その場の雰囲気を保つこと。

七三の道：道の真ん中を歩くのではなく、自分が歩くのは道の3割にして、残りの7割は緊急時などに備え、他の人の為にあけておくこと。

こぶし腰浮かせ：乗合船などで後から来る人のために、こぶし一つ分腰を浮かせて席を作ること。

逆らいしぐさ：野暮な「喫煙禁止」などの張り紙がなくても、非喫煙者が同席する場では喫煙をしない。

◆立川中ホームページもご覧ください◆

- ・URL <https://www.town.shonai.lg.jp/tachichu/>
- ・右の2次元バーコードを読み込んでアクセスできます。

